



防衛医科大学校

National Defense Medical College

医学教育部
看護学科学生
(自衛官候補看護学生)

受験案内



強くて優しい「看護」を学ぶ。



防衛省・自衛隊



はじめに Introduction

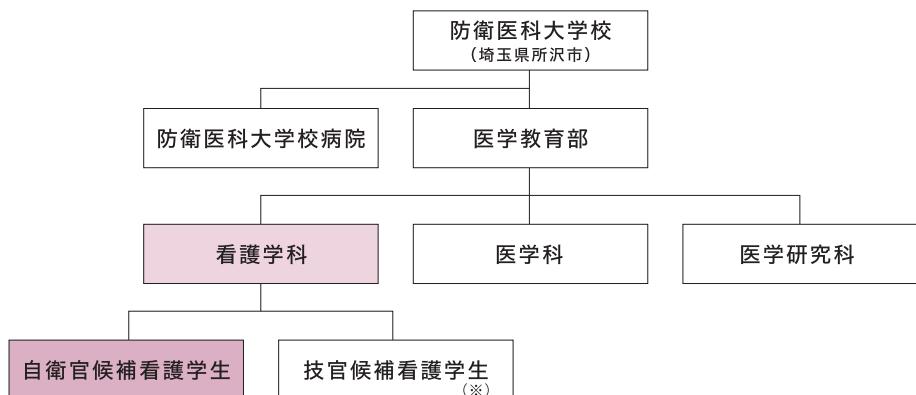
未来に目を向けた看護師養成課程の4年制化

防衛省・自衛隊では、任務の多様化・国際化、医療技術の高度化・複雑化に十分に対応し得る資質の高い保健師・看護師を育成するため、平成26年度に防衛医科大学校に4年制の「看護学科」を新設しました。卒業時には申請により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士(看護学)の学位が授与されます。

※看護学科には、幹部自衛官となるべき者を養成する自衛官候補看護学生と防衛医科大学校病院の技官となるべき者を養成する技官候補看護学生の2つのコースがあり、共通のカリキュラムは合同で実施されます。

〈技官候補看護学生についての問い合わせ先〉

※防衛医科大学校教務部教務課看護学科入学試験係 電話:04-2995-1211(代表) 内線2543 ホームページ <http://www.ndmc.ac.jp/>



看護学科(自衛官候補看護学生)の紹介

学生の身分：特別職国家公務員

卒業後：陸上・海上・航空自衛隊の幹部候補生学校において教育訓練を、自衛隊病院等において新人看護職員研修を受け、その後、陸上・海上・航空自衛隊(海空は若干名)の保健師・看護師である幹部自衛官として自衛隊病院、部隊などで勤務することになります。

手当：117,000円(令和4年1月1日現在)

償還金：卒業後6年未満で離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。

賞与：年2回(6月、12月)

(例) 令和3年3月の卒業生の償還最高額 880万円

募集人員：約75名

先端を行く高度なカリキュラム

- 感染症看護論
- 國際看護論

- 災害看護論
- 防衛看護学概論

● 防衛看護学各論

- ・ 災害時における防衛看護
- ・ 國際平和協力活動における看護
- ・ 戰傷病看護
- ・ 人的戦闘力の維持・回復

誇りを持てる看護師に

● 教育理念

防衛医科大学校看護学科は、仁愛の精神を基調とし生命の尊厳を深く認識し、優れた資質をあわせ持ち、防衛省・自衛隊が必要とする良質の看護が実践できる人間性豊かで、使命感・指導力そして協調性に富む看護専門職者を育成する。

● 教育目的

看護専門職者としての優れた教養・知識・技術を身につけるとともに、豊かな人間性と倫理観を養い、専門的な看護の実践を通して、防衛省・自衛隊の国内外における活動に貢献できる人材の育成を目指す。

本校の教育理念に基づき学習することができる学生を受入れるため、防衛省・自衛隊は次のような人を求めています。

- ① 知的好奇心にあふれ、向上心を持ち続けることができる人
- ② 科学的根拠に裏付けられた知識に敬意を払うことができる人
- ③ 国際社会で活躍できるコミュニケーション能力を磨こうとする人
- ④ 常に身体強健であり、成長・成熟を志向する人
- ⑤ 思いやの心で他人と接することができる人
- ⑥ 防衛省・自衛隊における医療活動に貢献しようとする熱い思いのある人

目次

はじめに	1
学校長挨拶	2
学校概要	3
5つの魅力	4
<i>Curriculum</i>	
教育課程	5
<i>Mission</i>	
訓練課程	7
<i>Support</i>	
施設と制度	8
<i>Campus life</i>	
生 活	9
<i>Future</i>	
進 路	11
<i>Information</i>	
情 報	13

学校長挨拶

Message



第11代
防衛医科大学校長

四ノ宮 成祥

防衛医科大学校では、防衛省・自衛隊に関心があり、将来患者さんに対する高度な看護と心のケアを担いたいという情熱をもつ受験生の皆さんをお待ちしています。

防衛医科大学校は、昭和48年の創設以来、「医師である幹部自衛官」となるべき者の教育訓練を任務とし、優れた総合臨床医を育成しています。平成24年の防衛省設置法の改正により、その任務に保健師及び看護師である幹部自衛官となるべき者の教育訓練が加わり、平成26年4月に4年制の看護学科を開設して以降、これまでに275名(令和3年3月卒業第4期生まで)が卒業しています。

看護学科のうち、保健師及び看護師である幹部自衛官となるべき者を養成する本コースでは、一般の看護系大学と同様の看護学教育に加えて、将来幹部自衛官となるための基礎的な教育訓練を受け、独自の防衛看護学も学びます。また、保健師としての資格を取得するために必要な事項も学修します。

卒業後は、幹部候補生として幹部候補生学校等で教育訓練を受けたのち、自衛隊の病院・部隊等に勤務し、隊員等の健康を守りながら幹部自衛官としての任務に当たっていきます。防衛省・自衛隊の任務の多様化・国際化にともない、今後国内のみならず国際社会への貢献の機会がますます増えていくことでしょう。

このような状況のもと、医療の分野では技術の高度化・専門化に対応しうる優秀な人材育成の期待が高まっています。防衛省・自衛隊では、国内外における多様な活動に貢献できる、専門的技能と豊かな人間性や的確な判断力を兼ね備えた質の高い保健師及び看護師を求めており、若い皆さんの志に大いなる期待が寄せられています。ぜひ、新たな第一歩を防衛医科大学校で踏み出してください、ここにご案内申し上げます。



学校概要

Outline

防衛医科大学校医学教育部看護学科(自衛官候補看護学生)とは

自衛隊看護師に必要な知識・技術・マインドの習得を目指す

防衛医科大学校看護学科（自衛官候補看護学生）は、保健師・看護師である幹部自衛官となるべき者を育成するコースです。

4年間の教育を受けすべての学生が保健師・看護師の国家資格の取得を目指します。免許取得後は、陸上・海上・航空自衛隊の幹部候補生学校に入校し、幹部自衛官に必要な知識と技能を学びながら、幹部としての資質を養います。その後、自衛隊看護官として全国の自衛隊病院や衛生科部隊等で勤務します。



カリキュラムの特徴

強く、優しい自衛隊看護師を目指して

近年における任務の多様化・国際化、医療技術の高度化・複雑化に、十分に対応し得る専門的知識・能力と豊かな人間性や的確な判断力を有する質の高い看護師を養成します。

看護学科では、一般教養科目を充実させるとともに、保健師・看護師に必要な特色ある教育を行います。さらに、保健師・看護師たる幹部自衛官になるべき者にとって必須となる防衛看護学など特色ある教育や部隊実習、基本教練を実施していきます。また、防衛省・自衛隊では、衛生環境の劣悪な被災地等での任務における傷病等の予防のため、衛生環境を調査し、公衆衛生活動を実施する必要が高まっています。全国各地の自衛隊病院、部隊等においては、疾病等の予防、メンタルヘルス、特定健診、特定保健指導などの業務が増大しています。このため、看護学科においては、すべての学生が保健師の資格取得を目指します。



沿革

昭和48年11月	防衛庁(当時)施設等機関として防衛医科大学校を開設	49年4月	航空自衛隊入間基地内の仮校舎で医学科学生の教育を開始	50年8月	所沢の本校舎に移転	50年9月	高等看護学院(3年制)を開設し看護学生の教育を開始	52年12月	病院の開設	55年3月	第一期医学科学生卒業	60年4月 (第12期学生)	医学科に初の女子学生入校	62年6月	医学研究科を開設	62年10月	医学研究科学生の教育を開始	平成3年9月	第一期医学研究科学生修了	8年10月	防衛医学研究センター開設	17年4月	防衛医学講座開設	19年8月	埼玉県から災害拠点病院に指定受け	22年4月	新病棟(西棟)の運用開始	26年4月	医学教育部看護学科(4年制)新設
----------	---------------------------	-------	----------------------------	-------	-----------	-------	---------------------------	--------	-------	-------	------------	-------------------	--------------	-------	----------	--------	---------------	--------	--------------	-------	--------------	-------	----------	-------	------------------	-------	--------------	-------	------------------

5つの魅力

1. 教育課程 Curriculum

質の高い教育内容

本校では、卒業後、社会で役立つ保健師・看護師になるための万全な授業プログラムが組まれています。

中でも特徴的なのは、臨地実習を重視し、しっかりと学ぶ場を設けている点です。

実践の医療現場で即戦力となるべく、多彩なカリキュラムが組まれています。



2. 訓練課程 Mission

国防を担うという誇り

自衛隊看護師は、自衛隊を医療の面から支えるほかに、「國の防衛」「災害派遣」「国際平和協力活動」等に就くことも重要な任務となります。そのため、本学のカリキュラムには、幹部自衛官としての能力を養う訓練課程が設定されています。



3. 施設と制度 Support

充実した学びの環境

本校では、入学と同時に特別職国家公務員（学生）の身分となります。

これにより、経済的な自立が図れ、安心して学業に専念することができます。

また、全寮制で規則正しい生活を送ることができます。寮費や食費のほか、授業料もかかりません。万全の環境で勉強ができます。



4. 生活 Campus life

共に生活する仲間との絆

学生舎での毎日の生活や、年間の楽しいイベントなど、共に思い出を作っていく仲間はかけがえのない存在となります。

看護師としても、社会人としても人の関係を良好に保つことはとても大切なことです。卒業後も全国の自衛隊病院、部隊等でつながっていく仲間との絆は、今後の活躍の糧となるでしょう。



5. 進路 Future

卒業後の多彩な活躍

卒業後は、全国の自衛隊病院や部隊等で勤務することになります。しかし、自衛隊看護師の活躍の舞台はさらに広く、災害時の被災者支援やPKO（国連平和維持活動）をはじめとする国際平和協力活動への貢献など、そのフィールドは国内にとどまりません。国民の期待に応え、いざという時に立ち向かえる勇気も本校で培われていきます。



1. 教育課程 質の高い教育内容

看護に従事するための知識と技術、マインドを習得する

4年制の看護学科では、一般教養科目を充実させるとともに、「災害看護論」、「感染症看護論」、「公衆衛生看護学」などの特色ある教育を行います。さらに、保健師・看護師である幹部自衛官になるべき者にとって必須となる防衛看護学など特色ある教育を行うとともに、部隊実習、基本教練といった訓練を実施していきます。



教育課程区分

Pick up 1

臨地実習を重視したカリキュラム

基礎分野から始まり、看護の専門基礎分野、専門分野そして統合分野へと体系的に看護学を学ぶことができます。

【実習・研修施設】

病院、老人介護施設、保育園など

Pick up 2

保健師・看護師国家試験

教官たちが、全員合格に向け模擬試験を交えて丁寧に個別指導を行います。



※令和3年度のものであり、今後変更される場合があります。

学年	1年	2年	3年	4年
教育課程	<p>基礎分野</p> <p>専門基礎分野</p> <p>●基礎看護学実習 I</p> <p>●基礎看護学実習 II</p> <p>専門分野 II</p> <p>●領域別実習</p> <p>統合分野</p> <p>●在宅看護学実習</p> <p>●統合実習</p> <p>●公衆衛生看護学実習</p> <p>防衛看護学概論</p> <p>防衛看護学各論</p>	<p>Pick up 1</p>		<p>Pick up 2</p> <p>2月 保健師・看護師 国家試験</p>
学びのポイント	<p>教養養育科目により、専門科目履修の基礎を充実させる。入学当初より一部の専門科目を履修。早期臨床体験、問題解決型の授業により、専門領域への興味と理解を深める。</p>    	<p>基礎看護学をベースに、成人看護学、小児看護学、母性看護学、老年看護学、精神看護学等の授業や学内演習により、看護の知識や技術を修得する。</p>	<p>病院だけでなく地域の施設において、各領域別の実習が開始される。保健医療福祉の連携についても広く学ぶ。</p>	<p>公衆衛生看護学実習、在宅看護学実習、統合実習、卒業研究を進めつつ、保健師・看護師国家試験の準備が本格化する。防衛看護学では、特殊戦傷病や自衛隊における国際貢献看護について学ぶ。</p>

看護学課程

※令和3年度のものであり、今後変更される場合があります。

教育内容	卒業に必要な修得単位数
基礎分野	人間の理解
	社会の理解
	自然の理解
	外国語
	体育
	総合Ⅰ
	総合Ⅱ
専門基礎分野	人体の構造と機能
	疾病的成り立ちと回復の促進
	健康支援と社会保障制度
	健康現象の疫学と統計
専門分野Ⅰ	基礎看護学
専門分野Ⅱ	成人看護学
	老年看護学
	小児看護学
	母性看護学
	精神看護学
統合分野	地域看護学
	看護の統合と実践
防衛看護学分野	防衛看護学
合 計	
135単位以上	

防衛医科大学校は、学校教育法に基づく大学又は文部科学大臣の指定する教員養成機関にあたらないため、養護教諭2種免許状取得に必要な単位を取得できません。

在校生の声

規則正しい生活の中で
人間的な成長を実感。

看護学科3年(自衛官候補)

友納 憲之介



小さい頃から人を助ける仕事に憧れています。高校の頃には国を守る自衛官に興味が湧き、どちらも両立できる防衛医科大学校を志望しました。規則正しい集団生活の中で、自分を律する力や時間を無駄にしない集中力、まわりの人を思いやる気持ちが身につき、人間的に成長していることを実感しています。3年生から病院実習が始まりました。実際に患者さんと向き合い、一人ひとりに合わせた看護を自分で計画・実施することにやりがいを感じています。ここは一般の大学に比べると特殊な環境なので、入校前は不安かもしれません。しかし、良き先輩や同期の仲間との深い繋がりが生まれ、安心して頑張れる場所です。自分の目標に向かって全力で突き進んでください。

自信を与えてくれる
大切な仲間の存在。

看護学科2年(自衛官候補)

福田 わかな



一般的な大学では経験できない刺激的な生活を送りながら、以前から興味があった看護師と自衛官の道に進みたくて入校しました。高校までは親に頼ってばかりで、何でも「できない」と思ったらすぐにあきらめていた私でした。しかし、集団生活や訓練を通して、あきらめなければできること、同期の仲間と一緒に乗り越えられることを経験から知り、自分に自信が持てるようになりました。防衛医科大学校では、自衛隊だからできること、災害時の対応など、ここでしか学べない自衛官の視点から見た看護を学べるのでとても興味深く、充実した毎日を送っています。恵まれた環境の中で一緒に看護師を目指しましょう。不安や悩みがあっても、共有できる仲間がすぐ近くにいます。

※学年は取材時のものです。

2. 訓練課程 国防を担うという誇り

心身ともに一人前の自衛官となるために

訓練課程においては、幹部自衛官として必要な基礎的資質及び技能を育成することを目的として、訓育、基本訓練及び部隊実習を本校ならびに陸上、海上、航空自衛隊の各部隊において行います。履修は第1学年から第4学年にわたり約501時間です。

訓練課程

訓練課程		内容	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	計
訓育		訓話など自衛官としての考え方や姿勢を学び、幹部としての基礎を確立します。	34	36	14	34	118
基本訓練	徒歩教練	一人ひとりの動作と小隊長以下の指揮法について修得します。	34	4	8		46
	体育一般	自衛隊体操や体力検定種目(3000m走、懸垂、ソフトボール投げ、走り幅跳びなど)を実施します。	40	4	4	4	52
	スキー	スキーの基本技術を身につけます。		31			31
	教育法	教育方法を学び、幹部自衛官として必要な能力を身につけます。			16		16
部隊実習		陸・海・空自衛隊の各部隊などで実習を行います。	36	114	30	58	238
計			144	189	72	96	501

(参考 令和3年度) 単位: 時間

授業風景



訓育



部隊実習



スキーの基本技術

Point

基本的なトレーニングからスタート

運動はさほど得意ではない、体力に自信がない、と不安に感じている方も多いかもしれません。しかし、訓練は基本から始まるので焦る必要はありません。教官からの指導により、適切な方法で体力をつけることができます。



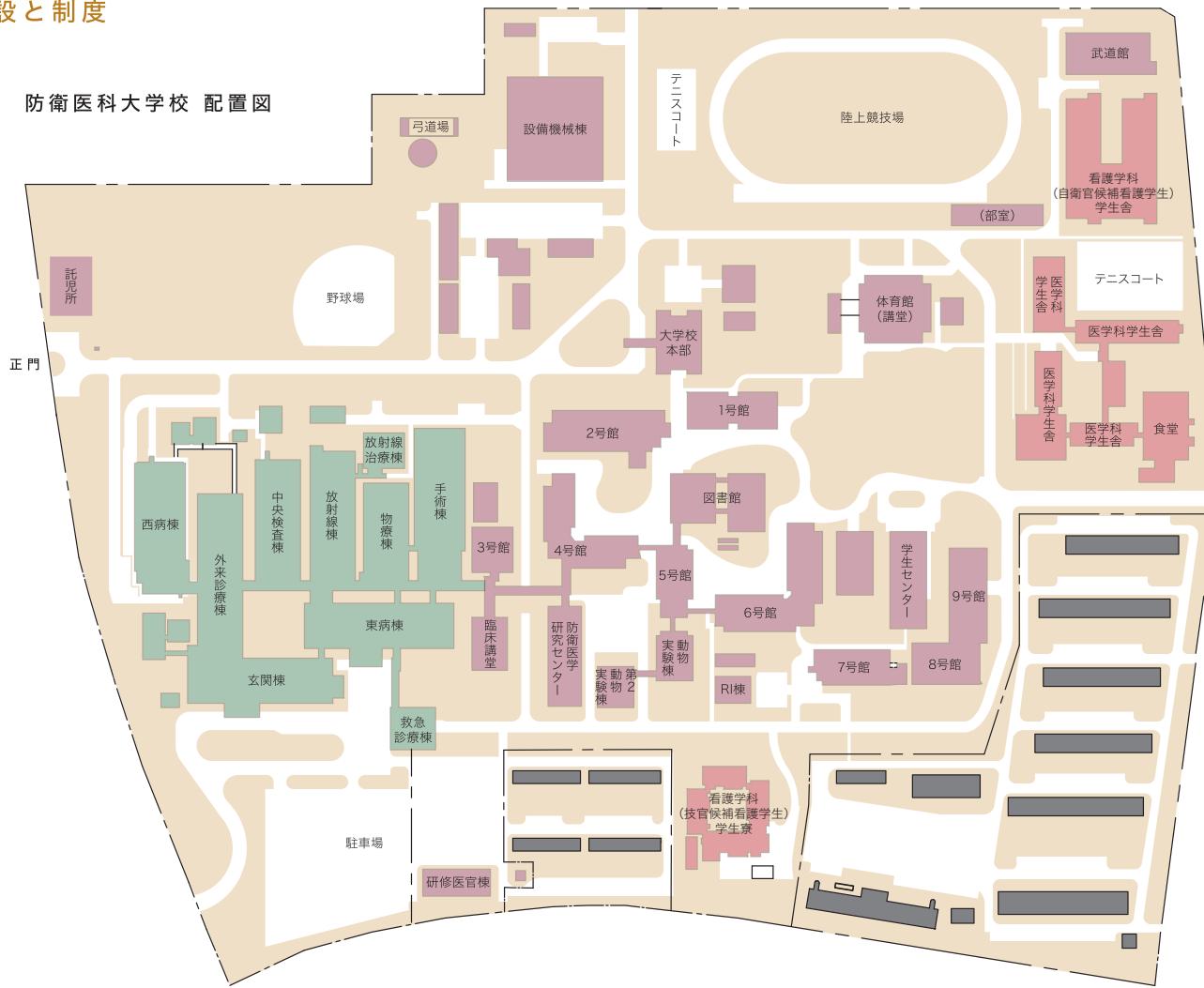
3. 施設と制度 充実した学びの環境

整備された施設と福利厚生制度

入校と同時に特別職国家公務員(学生)の身分となります。これにより、経済的な自立が図れ、安心して学業に専念することができます。

施設と制度

防衛医科大学校 配置図



学校区域

大学校本部	防衛医学研究センター	体育館(講堂)
1号館～9号館	臨床講堂	武道館
図書館	R1棟	弓道場
動物実験棟	学生センター	研修医官棟

※8号館、9号館が看護学科校舎です。

病院区域

玄関棟	西病棟	手術棟
東病棟	中央検査棟	放射線治療棟
救急診療棟	放射線棟	物療棟
外来診療棟	外来診療棟	

学生舎

医学科学生舎
看護学科(自衛官候補看護学生)学生舎
看護学科(技官候補看護学生)学生舎

その他の待遇

休日・休暇

週休2日制が実施されています。

年次休暇は年間20日のほか、年末年始の特別休暇等があります。

その他

被服・食事などは貸与又は支給されます。

防衛医科大学校への入学金・授業料などの納入はありません。

4. 生活 共に生活する仲間との絆

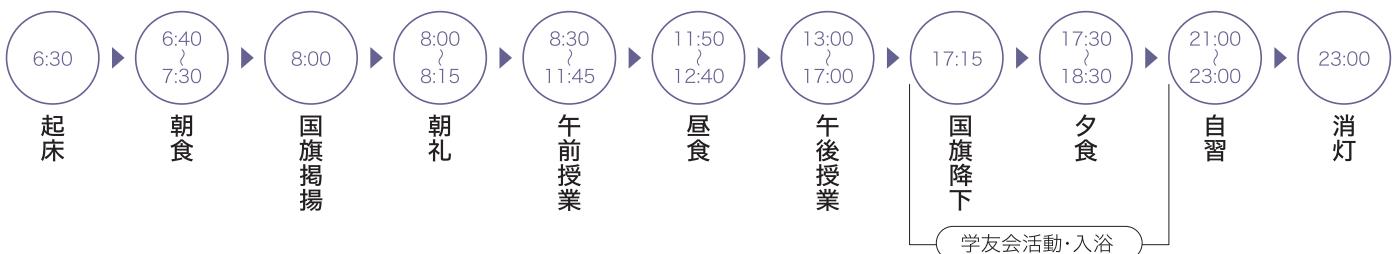
充実したキャンパスライフを経て チームワークを身につける

本学の学生は、宿舎生活が義務であり、学生として、規則正しい生活が定められています。4年間生活を共にする仲間たちとの絆は将来幹部自衛官になるべき学生としてかけがえのないもの。互いに切磋琢磨しながら強く優しい保健師・看護師である幹部自衛官を目指していきます。



学生の一日

規則正しい集団生活を送ることで、自衛官として看護師として、そして社会人としての自覚や所作を身につけていきます。



外出・外泊

事前に申請書を提出することで外出・外泊が可能です。休日はそれぞれ計画を立て有意義に過ごすことができます。

学年	外出			外泊
	土曜日	日曜日・祝日	平日	
第1学年				9月までは外泊が制限されます。
第2学年	8:00~22:20	8:00~22:20		(休日等の前日は17:15~22:20は外出できます。)
第3学年				休日等の前日17:15~ 休日等最終日22:20
第4学年				

※第1学年については、4月の休日等の外出・外泊は制限されます。

校内施設

学生は、全員入校と同時に学生舎で生活することが義務づけられ、4年間校内の学生舎にて生活を送ることになります。学生舎には、居室、集会室、及び洗濯室等の設備があります。



大学校本部



武道館



9号館



看護学科学生舎



図書館



陸上競技場



病院(玄関棟、東病棟)



コンビニエンスストア(学生センター内)

年間イベント

4月 April	●入校式 ●定期訓練
5月 May	●体育祭
6月 June	●定期訓練
7月 July	●定期訓練
8月 August	●夏季休暇
9月 September	●前期試験
10月 October	●並木祭(学校祭)
11月 November	
12月 December	●年末年始休暇
1月 January	
2月 February	●国家試験
3月 March	●後期試験 ●卒業式 ●春季休暇

様々なイベントを通じて仲間との絆を深めていきます。



入校式



体育祭



並木祭

クラブ活動（学友会）

運動系

合気道部	柔道部	ハンドボール部
空手道部	準硬式野球部	ラグビー部
弓道部	水泳部	陸上競技部
剣道部	スキーパーク	レスリング部
硬式庭球部	駅道部	ソフトボール同好会
サッカー部	バスケットボール部	チアダンス部
山岳同好会	バドミントン部	
自転車部	バレーボール部	



バレーボール部



空手道部

文化系

演劇部	吹奏楽部
音楽部	ディベート部
合唱部	美術部
華道部	ESS同好会
弦楽アンサンブル部	囲碁・将棋同好会
茶道部	ダンス同好会
写真部	
書道部	

スポーツ系、文化系、興味のあるクラブ活動に参加できます。

文化他

医用工学研究部
国際医学科生連盟防衛医科大学校支部
分子医学研究部



ダンス同好会

5. 進路 卒業後の多彩な活躍

全国そして世界に広がる活躍の舞台

卒業後は、全国の自衛隊病院や部隊で勤務することとなります。しかし、保健師・看護師である幹部自衛官の活躍の舞台はさらに広く、災害時の被災者支援やPKO（国連平和維持活動）をはじめとする国際平和協力活動への貢献など、そのフィールドは国内にとどまりません。

自衛隊看護師の任務

大きく分けると、以下の4つが卒業後に自衛隊看護師として果たすべき任務となります。これらの任務に従事する上で必要な技能・知識等を身につけるのが、看護学科学生の役割であり、使命と言えます。



① 隊員の健康管理



② 大規模震災などの各種事態への対応



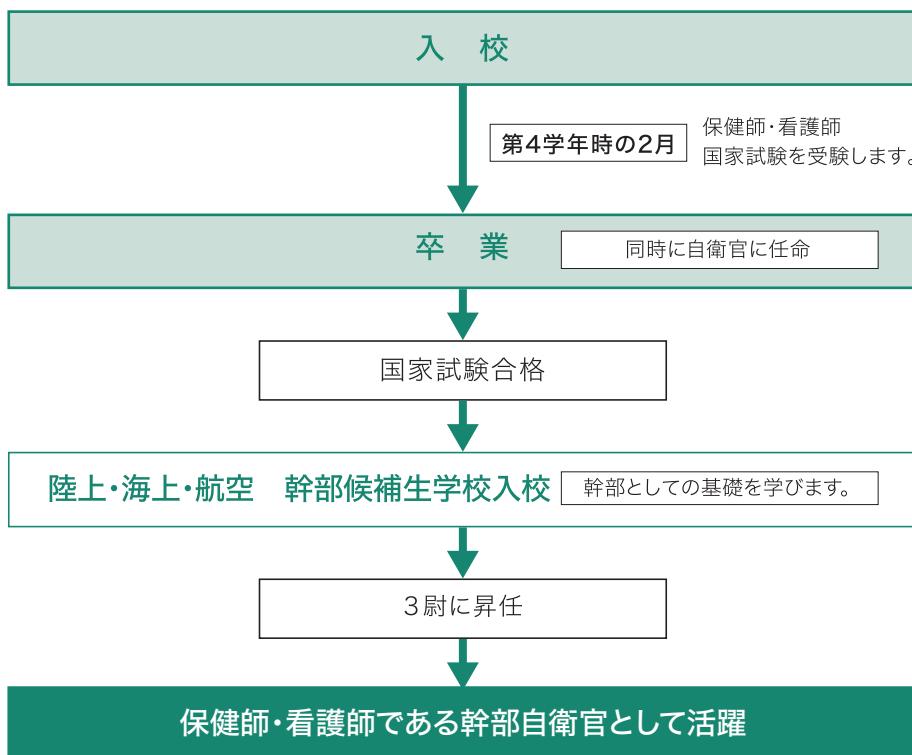
③ 国際的な安全保障環境の改善のための活動



④ 人道的な貢献

キャリアアップの道

保健師・看護師国家試験受験を経て、幹部自衛官の養成機関である陸・海・空幹部候補生学校に入校となります。幹部自衛官に必要な知識と技能を学びながら、幹部としての資質を養っていきます。その後、自衛隊病院において新人看護職員研修を行い、自衛隊病院、部隊などで勤務することになります。



幅広い将来の活動

病院勤務以外にも部隊勤務や国際緊急援助活動、災害派遣といった幅広いフィールドが用意されています。自衛隊の任務が国防に加えて災害派遣、国際平和協力活動、テロ対策等と多様になっていくにつれ、自衛隊看護師に求められる能力もさらに高まっています。

災害派遣

わが国は、その地形、地質、気象などの条件から自然災害が発生しやすく、国民の安全を確保するためには常に各種事態に備えることが重要です。大規模な自然災害や原子力災害などに際して、国内のどの地域においても災害派遣ができる態勢を保持することが求められており、自衛隊看護師が果たす役割も非常に重要なものとなっています。

国際平和協力活動等

今日の国際社会は、国際テロ、複雑で多様な地域紛争といった地球規模の問題に直面しています。このような問題解決のため、国際社会が一致団結して取り組む国際平和のための活動に、医療を通じて貢献していく必要があります。今後は、自衛隊衛生科部門や自衛隊看護師の役割がますます重要なものになります。

卒業後の勤務地

各幹部候補生学校卒業後は自衛隊病院、部隊等での勤務となり、看護師である幹部自衛官としての役割を担います。

自衛隊病院

自衛隊中央病院をはじめとする全国11カ所の自衛隊病院は、全国の主要な部隊がある場所にできた病院であり、ほとんどが外科や内科がある総合病院です。

衛生部隊

部隊では、医務室における医療の提供はもちろん、傷病者の治療・後送、各種健康診断の実施、隊員への衛生教育など衛生部門の一員として役割を担います。

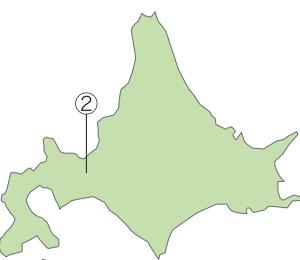
自衛隊病院の所在地一覧

陸上自衛隊

- ①自衛隊中央病院(東京都世田谷区)
- ②自衛隊札幌病院(北海道札幌市)
- ③自衛隊仙台病院(宮城県仙台市)
- ④自衛隊富士病院(静岡県駿東郡)
- ⑤自衛隊阪神病院(兵庫県川西市)
- ⑥自衛隊福岡病院(福岡県春日市)
- ⑦自衛隊熊本病院(熊本県熊本市)
- ⑧自衛隊那覇病院(沖縄県那覇市)

海上自衛隊

- ⑨自衛隊横須賀病院(神奈川県横須賀市)
- ⑩自衛隊呉病院(広島県呉市)



航空自衛隊

- ⑪自衛隊入間病院(埼玉県入間市)

看護官の気概を持って日々奮闘する毎日。

自衛隊中央病院
第2看護課5西病棟
陸曹長
鈴木 愛於
(平成30年卒業)



現在は、衛生科の初級幹部に必要な資質と識能についての教育を受けながら、新人看護師として外科病棟で日々奮闘する毎日を送っています。憧れであった看護師業務に携わるとともに、各種訓練を受けたことで、有事や災害が起った場合に必ず任務を遂行するという気概を持って働けていくことに何よりもやりがいを感じています。防衛医科大学校で教育を受けられたことで、看護師と自衛官の二つの側面を持つ看護官としての心構えが養われました。また、それを支えてくれる苦楽を伴にした同期の絆は、何物にも換えがたい財産です。心身ともに成長し、病院内にとどまらない活躍を目指す方には、非常に適した環境だと思います。

知識と技術を生かせる活躍の場が広がる。

自衛隊中央病院
第2看護課集中治療室
陸曹長
宇井 晓則
(平成30年卒業)



私は自衛隊中央病院の集中治療室で看護に当たっています。治療の緊急性の高い患者さんが多い集中治療室では、防衛医科大学校で学んだ知識や技術が多く生かされていると感じます。また、私達の活動は病院勤務だけでなく、海外派遣・災害派遣への参加等自衛隊ならではの活躍の場も存在します。防衛医科大学校ではこれらに特化した科目も学ぶことができ、世界に貢献できる知識・技術を得られる貴重な場所だと思います。防衛医科大学校で苦楽を共にして築いた同期の絆はとても強く、今でも様々な場面で救われていると感じます。学友会活動等を通じた先輩と後輩の強いつながりも、防衛医科大学校だからこそ築けるものだと確信しています。

※階級、所属は取材時のものです。

情 報

受験要項

採用種目：防衛医科大学校医学教育部看護学科学生(自衛官候補看護学生)

応募資格：18歳以上21歳未満の者、高卒者(見込含)又は高専3年次修了者(見込含)

試験種目：第1次試験：学力試験及び小論文試験

第2次試験：口述試験及び身体検査

※試験に関する詳しいことは、受験要項又は自衛官募集ホームページをご確認ください。

学生の福利厚生及び処遇等

身 分：特別職国家公務員

休日・休暇：週休2日制、年次休暇、その他に特別休暇等

手 当：学生手当：月額117,000円(令和4年1月1日現在)
※学生手当については、法律の改正により改定されることがあります。

保 険：団体生命保険、団体取扱生命保険、団体傷害保険等

期末手当：年2回(6月、12月)

医療施設：自衛隊病院、部隊、医務室等

福 利 厚 生：防衛省共済組合施設(宿泊、野球場、テニスコート等)

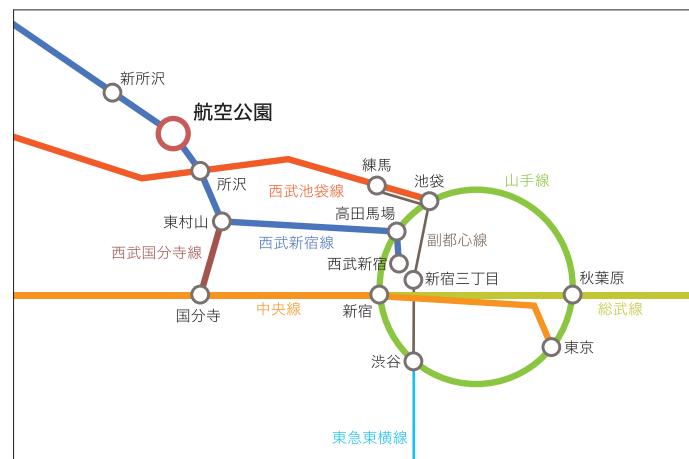
その他の処遇：食事・一部の被服類・寝具については支給又は貸与
防衛医科大学校への入学金・授業料等の納入はありません

貯 金 事 業：普通、定額積立、定期貯金

貸 付 事 業：普通、特別、住宅、財形等

物資販売事業：売店

アクセスマップ



所在地

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2番地
電話：04-2995-1211(代)(看護学科入試係 内線2543)
※病院から大学校へは通り抜けできません。

交通案内

- 池袋駅から西武池袋線所沢駅にて西武新宿線に乗り換え航空公園駅下車
- 高田馬場駅から西武新宿線航空公園駅下車
- 航空公園駅東口から徒歩約10分

ご質問・お問い合わせはお近くの自衛隊地方協力本部にご連絡ください。

■自衛隊地方協力本部一覧

電話番号	所在地	電話番号	所在地
札幌 011(631)5472	札幌市中央区北4条西15丁目1	愛知 052(331)6266	名古屋市中川区松重町3-41
函館 0138(53)6241	函館市広野町6-25	三重 059(225)0531	津市桜橋1丁目91
旭川 0166(51)6055	旭川市春光町国有無番地	滋賀 077(524)6446	大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎5F
帯広 0155(23)5882	帯広市西14条南14丁目4	京都 075(803)0820	京都市中京区西ノ京笠殿町38 京都地方合同庁舎3F
青森 017(776)1594	青森市長島1丁目3-5 青森第2合同庁舎2F	大阪 06(6942)0715	大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎2号館3F
岩手 019(623)3236	盛岡市内丸7番25号 盛岡合同庁舎2F	兵庫 078(261)8600	神戸市中央区脇浜海岸通1-4-3 神戸防災合同庁舎4F
宮城 022(295)2612	仙台市宮城野区五輪1丁目3-15 仙台第3合同庁舎1F	奈良 0742(23)7001	奈良市高畠町552 奈良第2地方合同庁舎1F
秋田 018(823)5404	秋田市山王4丁目3-34	和歌山 073(422)5116	和歌山市築港1丁目14-6
山形 023(622)0712	山形市緑町1-5-48 山形地方合同庁舎1・2F	鳥取 0857(23)2251	鳥取市富安2-89-4 鳥取第1地方合同庁舎6F
福島 024(546)1920	福島市南町86	島根 0852(21)0015	松江市向島町134-10 松江地方合同庁舎4F
茨城 029(231)3315	水戸市三の丸3丁目11-9	岡山 086(226)0361	岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎2F
栃木 028(634)3385	宇都宮市桜5丁目1-13 宇都宮地方合同庁舎2F	広島 082(221)2957	広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎4号館6F
群馬 027(221)4471	前橋市南町3丁目64-12	山口 083(922)2325	山口市八幡馬場814
埼玉 048(831)6043	さいたま市浦和区常盤4丁目11-15 浦和地方合同庁舎3F	徳島 088(623)2220	徳島市万代町3-5 徳島第2地方合同庁舎5F
千葉 043(251)7151	千葉市稲毛区轟町1丁目1-17	香川 087(823)9206	高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎南館2F
東京 03(3269)3513	新宿区市谷本村町10-1	愛媛 089(941)8381	松山市三番町8-352-1
神奈川 045(662)9429	横浜市中区山下町253-2	高知 088(822)6128	高知市栄田町2-2-10 高知よさこい咲都合同庁舎8F
新潟 025(285)0515	新潟市中央区美咲町1丁目1-1 新潟美咲合同庁舎1号館7F	福岡 092(584)1881	福岡市博多区竹丘町1丁目12番
山梨 055(253)1591	甲府市丸の内1丁目1番18号 甲府合同庁舎2F	佐賀 0952(24)2291	佐賀市与賀町2-18
長野 026(233)2108	長野市旭町1108 長野第2合同庁舎1F	長崎 095(826)8844	長崎市出島町2-25 防衛省長崎合同庁舎
静岡 054(261)3151	静岡市葵区柚木366	大分 097(536)6271	大分市新川町2-1-36 大分合同庁舎5F
富山 076(441)3271	富山市牛島新町6-24	熊本 096(297)2051	熊本市西区春日2丁目10-1 熊本地方合同庁舎B棟3F
石川 076(291)6250	金沢市新神田4丁目3-10 金沢新神田合同庁舎3F	宮崎 0985(53)2643	宮崎市東大淀2-1-39
福井 0776(23)1910	福井市春山1丁目1-54 福井春山合同庁舎10F	鹿児島 099(253)8920	鹿児島市東郡元町4番1号 鹿児島第2地方合同庁舎1F
岐阜 058(232)3127	岐阜市長良福光2675-3	沖縄 098(866)5457	那覇市前島3丁目24-3-1



自衛隊地方協力本部



防衛医科大学校

National Defense Medical College

医学教育部看護学科学生(自衛官候補看護学生)受験案内

最新情報はホームページでご確認ください。
また、インターネット応募サイトからも応募できます。

自衛官募集ホームページ



防衛医科大学校ホームページ



お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ